

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「悪性リンパ腫における末梢血液性成分の解析」へご協力をお願い

—2016年1月1日から2025年7月31日までに大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科講座で悪性リンパ腫と診断された患者さんへ

研究機関名 大阪大学微生物病研究所 感染腫瘍制御分野
大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科講座
研究分担者 大阪大学微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 幸谷 愛
大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科講座 保仙 直毅

1. 研究の概要

- 1) 研究の意義 悪性リンパ腫は不均一な病態を示す血液がんであり、一人一人に対する適切な抗がん剤治療の選択が困難な疾患です。本研究では、リンパ腫細胞以外の腫瘍微小環境に着目することで、予後の予測や適切な治療法の選択を可能にするバイオマーカーの開発につながる可能性があります。
- 2) 研究の目的 本研究では、患者さんの末梢血血清を用いて、悪性リンパ腫の発症に伴い、液性因子がどのように変化し、それが悪性リンパ腫の進展にどのような影響を及ぼすのかを解明します。

2. 研究の方法

- 1) 研究対象者 悪性リンパ腫の患者さん
- 2) 研究期間 2027年3月末日まで
- 3) 研究方法 末梢血から得られた液性成分に対する包括的なタンパク発現解析
- 4) 使用する試料の項目 病院に保存されている血清検体
- 5) 使用する情報の項目 以下の臨床データを解析に使用します
 - 観察項目
 - (ア) 診断情報：悪性リンパ腫の病型
 - (イ) 治療内容；選択した化学療法、薬剤投与量、薬剤投与間隔
 - (ウ) 無増悪生存期間、全生存期間
 - (エ) 身長・体重、パフォーマンス・ステータス
 - 検査項目：
 - ① 診療上得られた血液検査、尿検査、及び骨髄検査の結果
 - ② CT、MRI、FDG-PETなどの画像検査の結果
- 6) 情報の保存 使用する情報以外の項目は解析する電子機器に入力せず、匿名化して保存します

7) 情報の保護 登録患者照会用識別番号、匿名化番号の対応表（帳票）は大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科講座で保管します。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができます。この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。なお、学術論文を投稿する際、根拠データをデータベースへ登録します。この登録されたデータは民間企業における研究も含め国内外の様々な研究に利用される可能性があります。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027年3月末日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。ただし、発表した論文やデータベースに登録した根拠データの削除には対応できません。

<問い合わせ・連絡先>

所属 氏名：大阪大学微生物病研究所 感染腫瘍制御分野 幸谷 愛

電話：(平日：10時00分～16時00分) 06-6879-8293